

Y 四日市大学留学生新聞

YOKKAICHI UNIV

編集部：朴 慶姫(メディア3年) 梁 青(経済2年) 凌 青(経営3年) 顧 幸佳(経営3年)
杜 錚(メディア3年) 武 曉娟(経営2年) 周 大偉(環境情報2年)

四日市大学留学生新聞は 第20号 を迎えました！



自分のしたいことだけをするのではなく、 人として、すべきことをすることの大切さ。

今、日本語を学んでいる留学生たちは、教室の中に目的があるのではなく、教室の外で、日本語を遣って活躍することが求められる。

そうした留学生に対して、私は希望を失ったことは一度もない。

なぜなら、彼らの多くは思慮深く、健康で知能も体力もあるからだ。

ただ、残念に思うことは、最近の留学生はともすれば、自分の損得のみで走る傾向が強いということだ。

自分のしたいことだけをして、人としてすべきことをしていないのではないか。

時には、自分を犠牲にして、人のために何かをすることで、人が自分を如何に必要としているかを知ることができ、留学生としての生きる意義を見つけることができる。

そうすることで、はじめて、心が満たされる。それこそが留学生としての活力であり、留学生としての唯一の存在感になることを、改めて自覚すべきだと思う。



四日市大学 客員教授 西牧義江

イベント実施のご案内

留学生支援センターから

「多文化共生社会を考える」 パネルディスカッション

〈10月23日(日)10時から ADV教室〉

今年も昨年に引き続き、本学の先生方によるパネルディスカッションを行います。多国籍の人々が生きる日本の社会で、異なった文化がどのように共生していくのか、その現状と未来について学ぶ機会です。留学生の方にとっては、自分の生活に直結することも多いはず。ぜひ、ご観覧ください。

コーディネーター：岩崎恭典教授

パネリスト：富田与教授、千葉賢教授、
小林慶太郎准教授

年忘れ交流会の企画を 募集します

〈12月10日(土) 9時から13時頃 3号館〉

昨年度は「新春パーティー」として行った企画を、今年は「年忘れ交流会」として開催します。留学生支援センターでは、この交流会で披露していただくアトラクションを募集します。民族舞踊や伝統芸能などの国際色豊かな企画だけでなく、歌やかくし芸等、広くご応募ください。日本人学生の方とのジョイントアトラクションも歓迎します。

平成23年度私費外国人留学生奨学金



留学生を対象とした奨学金が今年度も給付されました。
受賞者の皆さん、おめでとうございます。

平和中島財団 外国人留学生奨学金
グエン デイン ソン（経済学科4年）

私費外国人留学生学習奨励費（日本学生支援機構）
平成23年度受給者（1年間） 23名
平成23年度後期受給者（6ヶ月間） 6名

三重県私費外国人留学生奨学金（三重県）平成23年度合格者
車 丹丹（経営学科4年）
トラン トウイ キム ユン（経営学科4年）

国際ソロプチミストー三重奨学金（国際ソロプチミストー三重）
湯 泉（経済学科2年）

第7回留学生による日本再発見の旅ー宗村南男留学生奨学金「Discover Japan」

周 昱（経営学科1年）
邵 晶（経営学科1年）



Discover Japan 東京、横浜、神戸への旅



「日本再発見」の旅は、とても有意義な4日間となりました。

私たちは、まず東京に向かいました。国立西洋美術館では、「大英博物館 古代ギリシャ展」が行われていました。（中略）日本初公開となる傑作「円盤投げ」をはじめ、大英博物館が世界に誇るギリシャ・コレクションから厳選された彫像、レリーフ、壺絵など、135点が紹介されていました。（中略）

浅草は、大きな赤い提灯「雷門」をランドマークに、下町ワールドが広がる日本らしい温かな雰囲気が溢れていました。浅草には、招き猫がたくさん売られていました。どうしてこんなにたくさん売られているのか、その理由を調べてみたいと思いました。

この旅行は、新たな発見も多かったです。（中略）名古屋ではエスカレーターに乗る時、左側に並びますが、関西では右側に並びます。その習慣の違いは面白いと思いました。一つだけ残念だったことは、六甲山に夜景を見にいけなかったことです。またいつか、絶対に行きたいと思っています。

経営学科1年 周 昱

4日間の研修旅行は、楽しいこともあり困ったこともありましたが、私の人生において、とても重要な旅になりました。（中略）

神戸では、異人館などを見学しました。旧中国領事館には、中国西周時代の古文化財から、宋代の陶磁器、現代の水墨画まで、幅広い中国美術のコレクションがありました。また、ベンの家や英国館、旧パナマ領事館などたくさんの異人館がありました。それらを見て、昔、外国人が、どうやって日本で生活してきたか、理解することができました。

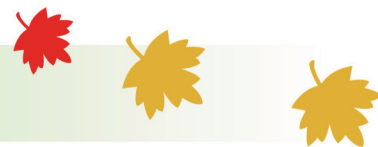
最後に、世界一のつり橋、明石海峡大橋に行きました。明石海峡大橋の長さは、3910メートル、舞子公園の中にあります。その公園には、海上約47メートルの空中散歩ができる舞子海上プロムナードや孫文記念館があります。海上プロムナードは、スリルがありとても怖かったです。

私は、この研修旅行を終えて、もっと勉強したいと思いました。色々な歴史や現代の技術などを勉強したい、世界の色々なことを知りたいと思います。（後略）

経営学科1年 邵 晶



大学祭の開催



みなさん、こんにちは！いよいよ一年に一回の四日市大学大学祭の日が近付いていますね！10月22、23日、この二日間にかけて四日市大学では大学祭を開催します。

大学祭は学生を中心に、学生達は模擬店を出します。先生方や地域の人々、それぞれたくさんの人々が学校にきて、学校の紹介をしたり、みんなと交流したり、楽しむことができます。

昨年、私は初めて、大学祭に参加しました、その時、いつもと違う雰囲気があって、深い印象が残りました。

特に、色々な国の留学生は自分の国の得意な料理や特色がある物を販売しました。たとえば、中国のギョーザ、ベトナムのフォー、四日市と姉妹都市天津の特産物も販売しました、また、日本人の模擬店も日本で有名な料理や面白い飾り物などを販売しました。大学で、色々な国の料理を食べたり、物を見たり、面白い話を聞いたり、とても楽しかったです。たくさんのお客様が大学に来ていただいて、物を買ったり、交流したり、すごく盛り上がりました。

今年も色々な面白い模擬店が出店し、必ずいい体験が得られると思って、みなさんの参加を楽しみにしています。

開催日:10月22日、23日

経済学科2年 梁 青

ESL英語スピーチコンテスト

爽やかな秋風を感じる頃、ESLでは、英語によるスピーチコンテストが開かれています。

6号館入り口にあるESLの空間に、私は入学当初から時々顔を出しています。それは、リラックスしたり、色々な学生たちとのふれ合いが楽しみであるからです。

しかし、やっぱりESLでの本来の目的は、やはり英語力UPのためであります。そして、夏が終わった頃、「英語スピーチコンテスト」開催のチラシを見ました。

英語でのスピーチなど、今の私には考えられませんが、それはどのようなものかしらと興味津々で聴きに行きました。すると、初め抱いていた堅苦しさは全くなく、発表者ひとりひとりがにこやかで、時には身振り手振りを交えた軽やかなスピーチに、わくわくしながら聴き入っていました。それぞれが日頃関心あることを、スピーチという場で発表するというものでした。そのためには、調べたり考えたりします。そして英語で書いて発表します。それは大変な作業かもしれませんが、自分自身の能力向上のためにとっても役立つものだと思います。今年も楽しみにしています。

開催日：10月26日

環境情報学科3年 後藤 朱実

日本語弁論大会の感想

初めて、壇上に立ち、多くの人を目の前にして、スピーチをしたのは、昨年の今頃でした。

日本に来て、なれない日本語で相手にうまく伝えられず、大変苦労した私たち留学生にとって、弁論大会は日本語で伝える絶好のチャンスです。私は、弁論大会を通じて、日本語の能力を向上させるばかりではなく、臆病な自分を成長させることができました。

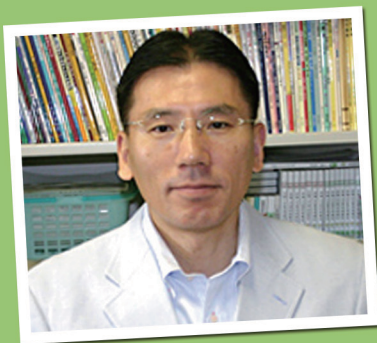
今、私は、心のゆとりができて、今回の弁論大会のために、準備しております。前回の経験で成長した自分が今度はどれだけやれるか、楽しみにしています。

現在、四日市大学にも、多くの留学生が弁論大会に出場する実力を持っていますが、いろいろな理由で、勇気を出さず、最後に諦めました。いいチャンスを失って、それは、もったいないと思います。

皆さん、弁論大会を自分が一番好きで心から楽しいこととして、勇気を出して、一步を踏み出しましょう。私と一緒に、弁論大会で頑張って、自分のありったけの力を出して、チャレンジしましょう。

開催日：10月13日

経済学科2年 湯 泉



たくさん練習問題をこなし、解らないことは納得のゆくまで担当講師に質問してください。この講座を十分に活用ししっかり実力をつけてください。一人でも多くの留学生がN1の資格を取得できることを願っています。

加納 光

日本語能力試験対策講座

9月20日（火）～11月29日（火）の間「日本語能力試験対策講座」を実施します。日本語能力試験N1の資格の有無は、就職にも大学院進学にも影響します。取得していない留学生のみなさんは、当講座を受講してぜひ取得してください。

実施スケジュール

- ・期 間：9月20日（火）～11月27日（火）の毎火曜日（全11回）
- ・時 間：5時限目（16：20～17：50）
- ・場 所：123教室（1、2回）／6303・6304・6305教室（3～11回）

テキスト

『日本語パワードリル N1 文字・語彙』アスク、924円

『新完全マスター 文法 日本語能力試験N1』

スリーエーネットワーク、1260円

日本語能力1級を取った体験談

日本語能力1級の資格は留学生にとって絶対に必要だと思います、まだ取っていない留学生が結構いると思います。是非頑張って取ってください。

今年、私も1級に合格し、物凄く嬉しかったです。1級を取るためにちょっと工夫しました。1級の単語は範囲が広いし、文法も日常生活で使われていない文法ばかりです。一つ目のポイントは復習の繰り返しです。二つ目のポイントは日常生活の中でできるだけ日本人とコミュニケーションを取ることです。それで日本人がどういう風に話すのか勉強になると思います。三つ目のポイントは時間があれば、テレビを見ることや、新聞・本を読む習慣をつけたほうがいいと思います。この三つのポイントができればきっと日本語能力がアップすると思いますが、最後にもう一つ大事なポイントは、分からない言葉や文法があったら見逃さないことです。

以上が私の日本語を勉強する方法です。よくある方法かもしれませんが、もし参考になれば、嬉しいと思います。まだ1級を取っていない留学生の皆さん、是非諦めないで、自分なりに一番いい勉強方法を選んで、その1級を合格した嬉しさを実感してください。

経営学科2年 張 佳琳



日本語勉強コーナー



虫を使った日本語の表現

虫も殺さぬ：とても優しい。

虫がいい：自分の都合がいいように考えてずうずうしい。

虫が好かない：特に理由はないが、すきではない。

虫のいどころが悪い：機嫌が悪い。

虫の知らせ：はっきり理由はわからないが、よくない予感がする。

四日市大学日本語の先生達からの一言

「夢に向かって確かな一歩を！」

さまざまな思いを胸に四日市大学へ入学された留学生の皆さん、大学生活はいかがですか。校内で見かける皆さんの明るい笑顔が、順調な留学生活を物語っているようです。長いようで短いのが大学の4年間。それぞれの夢に向かって確かな歩みを続けてください。留学生生活を成功させるキーワードは「健康・好奇心・努力・忍耐」。初心を忘れず、充実した留学生活を送ってください。心から応援しています。



加納 光 先生

どの門から入って、どこを目指すのか

日本の日本人に興味がある留学生は大いに夢と希望を描いていただきたい。

人間が好き、言葉が好き、好奇心旺盛なネアカタイプの留学生なら素質は十分にある。どの門から入って、どこを目指すべきか。その道すがらどんなことに注意しなければならないのか。その歩み方は人それぞれ違うが、確かな一歩を踏み出すためには「聞く、話す、読む、書く」の4技能の修得から始めるべきだと思う。



西牧 義江 先生

どんどん自分の花を咲かせてください！

週に2回、日本語の授業に来ていますが、留学生の皆さんは、笑顔が素敵な方ばかりで、元気になれます。

「咲」の字は日本では「花が咲く」のようにしか使いませんが、実は「笑う」という意味も持っています。留学生の皆さんの笑顔を見ていると、「花が咲いているようだ」と思うことがあります。

笑顔の花が咲けば咲くほど、人生の花も咲くと思います。自分の可能性を信じて、どんどん自分の花を咲かせてください！



西隈 俊哉 先生

共に頑張りましょう！



坂本 麻裕子 先生

四日市大学の留学生の皆さんは明るくて、良い学生がとても多いと思います。廊下や駅でも挨拶をしてくれます。授業中も意見を述べたり、質問をしたり、積極的に参加してくれます。時には冗談を言って私を笑顔にしてくれますから、毎回、授業が楽しみです。

よく「日本人に伝わらない」という相談を受けます。特に外国語で、自分の考えを伝えることは難しいと思います。言葉の勉強は、小さな努力が必要です。例えば、電車の中で単語を覚える、新しい単語を単語帳に記録する、テレビやラジオでニュースを聴いて発音を真似する等、毎日できる小さな努力をしてみてください。

留学生の皆さんは自分の国を離れ、アルバイトや家事をしながら勉強をしなければなりません。楽しいことも、嫌なこともあると思います。どんな時も応援しています。共に頑張りましょう！

「多文化共生社会を考える」プログラム第一弾

「日帰り研修」

8月27日、第10回飛騨・木曽川Eポート交流会に参加する予定でした。残念だけれども、雨のせいで川が増水していました。安全のためEポート交流会が中止になりました。そのかわりに、恵那峡ワンダーランドデイキャンプ場へ行きました。森の中で、自然のとてもきれいなところでした。そこで、私たちは昼ごはんとして、全員が三つのグループに分かれてカレー作りを始めました。使っている材料は同じでしたが、作り方はグループによって違いました。カレーをキャンプで作るのは全員が初体験で、始めから終わりまで、みんながしっかり協力して、楽しく、おいしいカレーを作りました。

この交流会で一番大切なことは、いろいろな国の留学生や日本人の学生、そして日本語のボランティアの方と先生方も一緒に協力して、お互いに文化や経験などをやり取りすることができたことだと私は思います。

経営学科2年 メアス ヴィサル



四日市市民大学ネパール文化の紹介



平成 23 年 9 月 3 日に「四日市市民大学」として行われた小さなイベントがありました。そのイベントの目的はネパールのいろいろな文化を紹介することでした。ネパールの紹介なので私たちネパール人はそのイベントに参加をしました。

ネパールについて説明した時に私たちはそれぞれに説明しました。例えば、四日市大学四年生、ラマカンチャは文化、服装、民族、環境などの説明をしました。また私はネパールの伝統的なダンスを踊りました。それ以外にも、2人のネパール人が他の学校からネパールの紹介をしに来ました。1人は歌を歌って1人は踊りました。その日、ちょうど台風が来ていましたので大学まで着くことが大変でしたが、私たちネパール人にとっては、非常に良い機会でした。自分の国について海外で紹介する機会を頂けることはとてもうれしいことだと思います。また機会があればネパールについて色々なことを紹介しようと思っています。

総合政策学科2年 グラン ラジ クマル

夏休みも終わり、これから後期が始まります。日本で学ぶ皆さん、来日のきっかけは様々だと思いますが、私は日本で就職したいです。この夏休みに、インターンシップに参加しました。十日間は短いですが、私の就職の道へ重要な一歩だと思います。

インターンシップとは、自分が選んだ企業で正社員としての仕事を体験するものです。自分の全く興味のない業界や企業にインターンシップに行っても、あまり意味はないと思います。しかし、気になっている業界があったり、まだどんな仕事をしたいか決まっていなければ、短期間でもいいので、インターンシップに参加することで自分の気持ちがはっきりします。インターンシップに参加することは、自分にとって今後の人生の方向性を決めるのにいい経験だと思います。

また、インターンシップに応募してチャレンジしてみたほうが、周りの刺激を受けることができ、業界についても理解し、自分も成長できると思います。ですから、インターンシップに参加して良かったと思います。

経営学科3年 程 榕



萬古焼への参加

皆さん、陶器を作ったことがありますか？7月24日、私達は留学生として、先生につれて行って頂き、『萬古焼』という陶器を作り、とてもおもしろかったです。

最初に、陶芸の先生の説明を聞いて、やり方を見てから、私達はやり始めました。先生のやり方はとても簡単に見えますが、実際にやってみると、かなり難しかったです。会場で先生を呼ぶ声ばかりでした。

土から、どうやってカップ、茶碗、自分が好きなものになるのか、そして、どうやって形になっているのかを考えなければなりません。

生徒は中国の留学生だけではなく、アメリカ人、韓国人、日本の社会人、子供もいました。みんなばらばらに座って、喋りながら、陶器を作っていました。陶芸のやり方、おもしろさが分かるとともに、他の国の人との交流もできました。

やがて、みんなから様々な作品ができてきました、そこで、先生はみんなが喜ぶことを言いました。それは、作った物を焼いてから、みんなに送ることでした。最後に、みんなで記念写真を撮って終わりました。

とてもおもしろい体験でした。みんなさんも、チャンスがあれば、ぜひ参加してみてください。

経営学科2年 武 曉娟



広島への旅行

皆さん夏休みはどうでしたか？私は学校の研修旅行に参加したからとても楽しかったです。旅行の行程をご紹介します。

まずみんなで日本三景の一つ宮島に行って、厳島神社に参拝しました。海を敷地として独創的なデザインの回廊で結ばれた朱塗りの神社は、潮が満ちてくるとまるで海に浮かんでいるようです。

二日目に、世界の平和を祈る気持ちで広島平和記念公園に行きました。戦争で壊された66年前の遺跡を見て、その時の様子が目の前に浮かんでくるようでした。

旅行の最後の日には、現代の匂いが溢れている大阪USJに行きました。スピードと高さに挑戦してジェットコースターに乗った瞬間の笑顔は、カメラの中に残っています。

三日間の旅行はとても楽しくて、終わった時はとても短かったと感じました。旅行の間、心身をリラックスして、とてもいい思い出を作りました。また来年のイベントもみんなと一緒に参加したいと思います！

経済学科2年 劉 佳利

キャンセル待ちでの申し込みでしたが留学生支援センターの先生方と学校のご厚意で今回の広島研修旅行に参加することが出来て、心から感謝しています。今回の研修旅行は私にとって最後の大事な大学生活の思い出になりました。最高の旅行でした。

今までの研修旅行と違って、今回は「最後の学生時代の思い出を作ろう」という気持ちで参加しました。この旅を通して、団体行動（新幹線、電車に乗ること）、人との触れ合い（ルームメイトと仲良くすること）、日本の歴史（広島原爆ドーム）、日本の若者に大人気のテーマパーク（U.S.J）を体験することが出来て、視野が広がったと実感しています。

そして、フェリーに乗るのも初体験、U.S.Jも初めて、感動でした。3日間でみんなと親しく過ごして良かったと思います。U.S.Jではドキドキした乗り物、美味しいターキーを食べ、楽しい買い物などとても忘れられない一時です。

最後に、3日間仲良くして下さった方々に感謝です。

私のルームメイトの皆さんへ、協力してくれて、部屋長の責任を果たすことが出来て「ありがとう」。皆さんと過ごした時間は私にとって大事な時でした。

経営学科4年 トラン トゥイ キム ユン

